

授業科目

医動物学

担当教員名 関川 弘雄、池上 喜久夫	対象学年	4	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○		

授業の概要

寄生虫症は、日本国内での発生は減少傾向にある。しかし、輸入感染症は増加傾向にある。また、寄生虫をはじめとする医動物による感染症は、多くの途上国において、今なお多くの人を苦しめている。近年WHOは「寄生虫感染症をNeglected tropical diseaseとし、蔓延地区において経年的な調査を実施している。本講座では、国際的な視野に視野に立ち、寄生虫症を理解する。

授業の目的

医動物による人体への影響を理解する。

学習目標

1. 寄生虫を分類できる。
2. 寄生虫の自然史と人間の関係について概説できる。
3. 寄生虫によって引き起こされる健康被害について概説できる。
4. 寄生虫検査の手技について概説できる。
5. ダニや蚊などの衛生昆虫が及ぼす健康被害について概説できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	医動物学総論 1	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
2	医動物学総論 2	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
3	医動物学総論 3	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
4	原虫類 1	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
5	原虫類 2	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
6	原虫類 3	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
7	線虫類 1	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
8	線虫類 2	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
9	線虫類 3	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
10	吸虫類 1	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
11	吸虫類 2	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
12	吸虫類 3	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
13	条虫類 1	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
14	条虫類 2	講義	関川 弘雄 池上喜久夫
15	衛生動物	講義	関川 弘雄 池上喜久夫

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	医動物学 改訂6版	吉田幸雄、有園直樹	南山堂	2013年	5,700円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

- ・小テスト40%
- ・定期試験60%

履修上の留意点

寄生虫症は今尚、国際的に多くの地域で風土病として、健康被害を及ぼしています。日本だけでなく、国際的な視野に立って講義を進めてゆきます。

オフィスアワー・連絡先

連絡先：池上喜久夫 ikigami@nuhw.ac.jp